

令和 4 年度 水道事業の概要

主な業務状況

- 給水人口は 263,563人で、前年度に比べ 2,454人減少しました。
- 有収水量（料金を賦課した水量）は28,149,896^mで、人口減少に伴う一般家事用水量の減少により、前年度に比べ 374,233^m減少しました。
- 有収率は85.3%で、前年度より0.4ポイント減少しました。

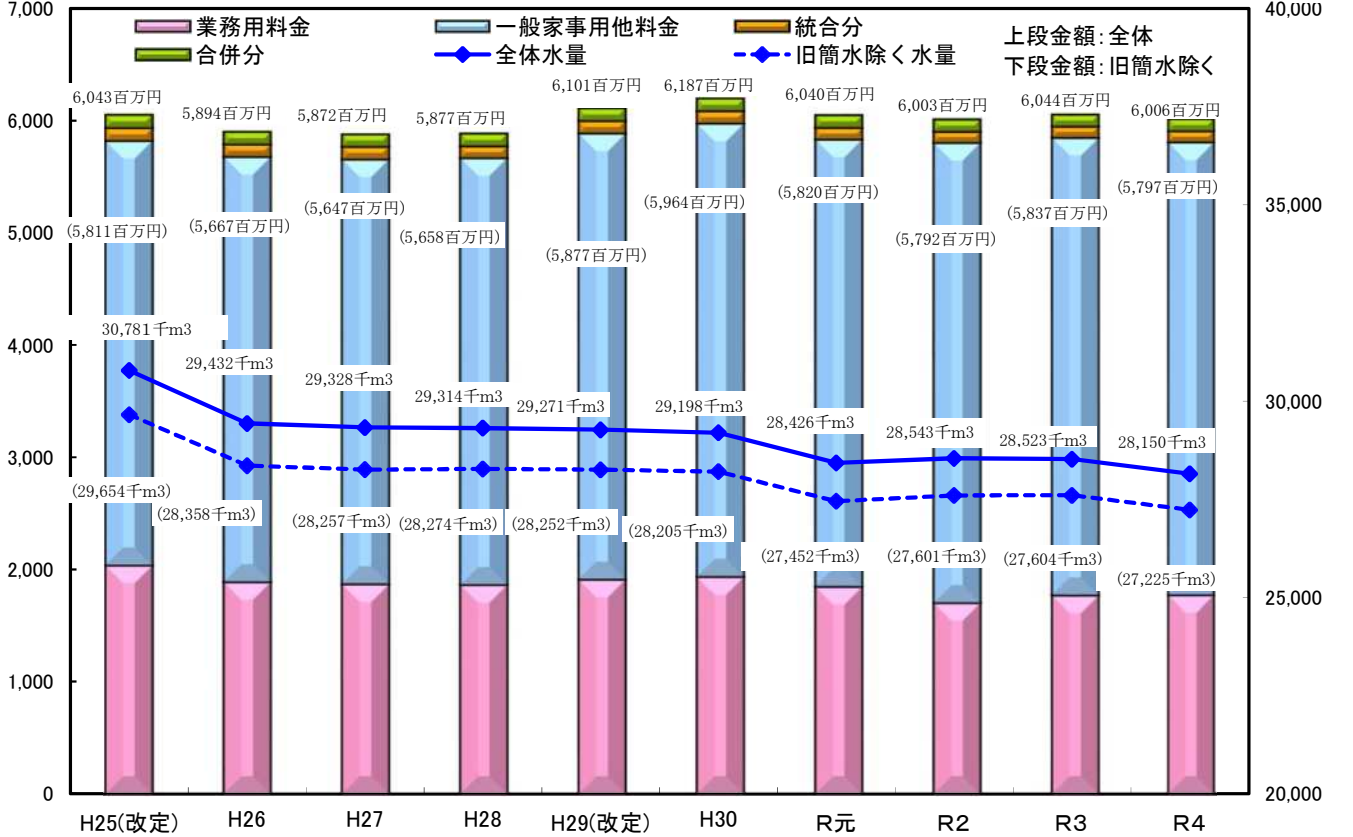
項 目	令和 4 年度	令和 3 年度	増 減	対前年比
給水人口（人）	263,563	266,017	△ 2,454	99.1%
給水量（ ^m ）	32,986,969	33,273,301	△ 286,332	99.1%
有収水量（ ^m ）	28,149,496	28,523,729	△ 374,233	98.7%
有収率（%）	85.3	85.7	△ 0.4	—

水道料金収入の推移

令和4年度の水道使用水量は前年度から約37万³m³の減(△1.3%)で、水道料金収入は前年度から約3,800万円の減(△0.6%)となった。

これは、業務用がほぼ横ばいだったものの、一般家事用が減少したもので、人口減少がその主な要因と思われ、一般家事用の減少は今後も緩やかに進むことが予想される。

棒グラフ
(百万円)



水道料金推移 (税抜き)

単位: 百万円

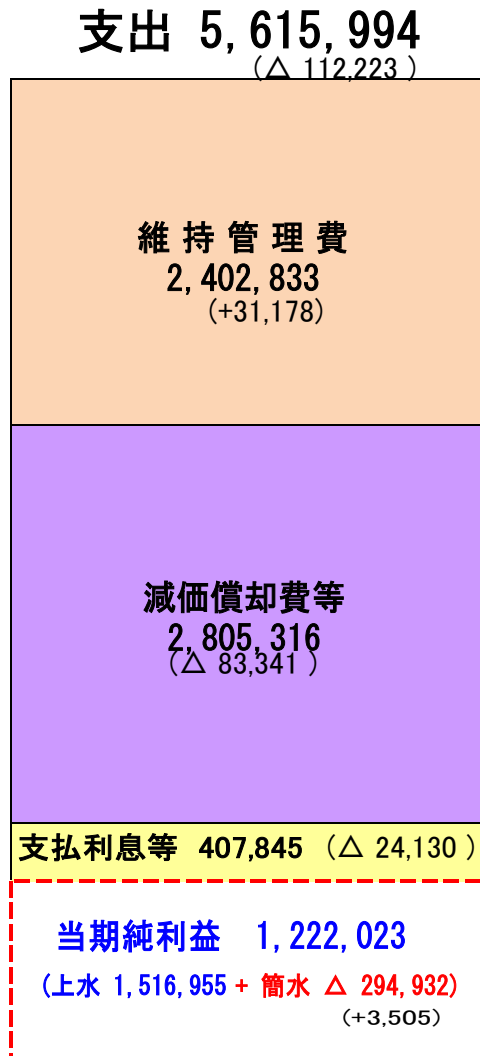
年度	水道事業						旧簡易水道事業			総合計		
	一般家事用他	対前年増減	業務用	対前年増減	合計(A)	対前年増減	水量(千m ³)	統合分(b1) 戸鬼無里岡	合併分(b2) 信州新町中条	水量(千m ³)	料金(A)+(b1)+(b2)	対前年増減
H25(改定)	3,779	251	2,032	△ 21	5,811	230	29,654	115	117	1,127	6,043	235
H26	3,784	5	1,883	△ 149	5,667	△ 144	28,358	114	113	1,074	5,894	△ 149
H27	3,780	△ 4	1,867	△ 16	5,647	△ 20	28,257	113	112	1,071	5,872	△ 22
H28	3,798	18	1,860	△ 7	5,658	11	28,274	108	111	1,040	5,877	5
H29(改定)	3,971	173	1,906	46	5,877	219	28,252	110	114	1,019	6,101	224
H30	4,032	61	1,932	26	5,964	87	28,205	110	113	993	6,187	86
R元	3,977	△ 55	1,843	△ 89	5,820	△ 144	27,452	108	112	974	6,040	△ 147
R2	4,094	117	1,698	△ 145	5,792	△ 28	27,601	102	109	942	6,003	△ 37
R3	4,071	△ 23	1,766	68	5,837	45	27,604	101	106	919	6,044	41
R4	4,027	△ 44	1,770	4	5,797	△ 40	27,225	102	107	925	6,006	△ 38

※(改定)は、料金を改定した年度

令和4年度 水道事業会計決算の概要

(単位 千円)
(かっこ内は前年度からの増減)

収益的収入及び支出 (税抜き)



- その他収益 137,894 (△ 23,428)
- ・ 加入金 66,209
 - ・ 賃貸料等 18,524
 - ・ 手数料等 40,102
 - ・ 受取利息等 13,059

参考

	R3	R4
特別利益	17,684	→ 0
特別損失	35,930	→ 0

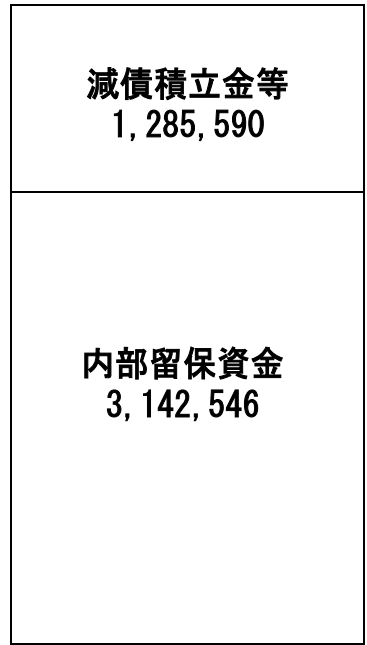
純利益等の処分

当期純利益	
・ 減債積立金	889,023
・ 建設改良積立金	333,000
	1,222,023

資本的収入及び支出 (税込み)



補填財源



補填後の内部留保資金残額 10,982,812
(△ 489,384)
(損益勘定留保資金 8,198,812 + 建設改良積立金 2,784,000)

損益勘定留保資金の内訳

過年度分	5,871,650
現年度分	2,327,162

建設改良積立金の内訳

～2年度	2,458,000
3年度	326,000

令和4年度 下水道事業の概要

主な業務状況

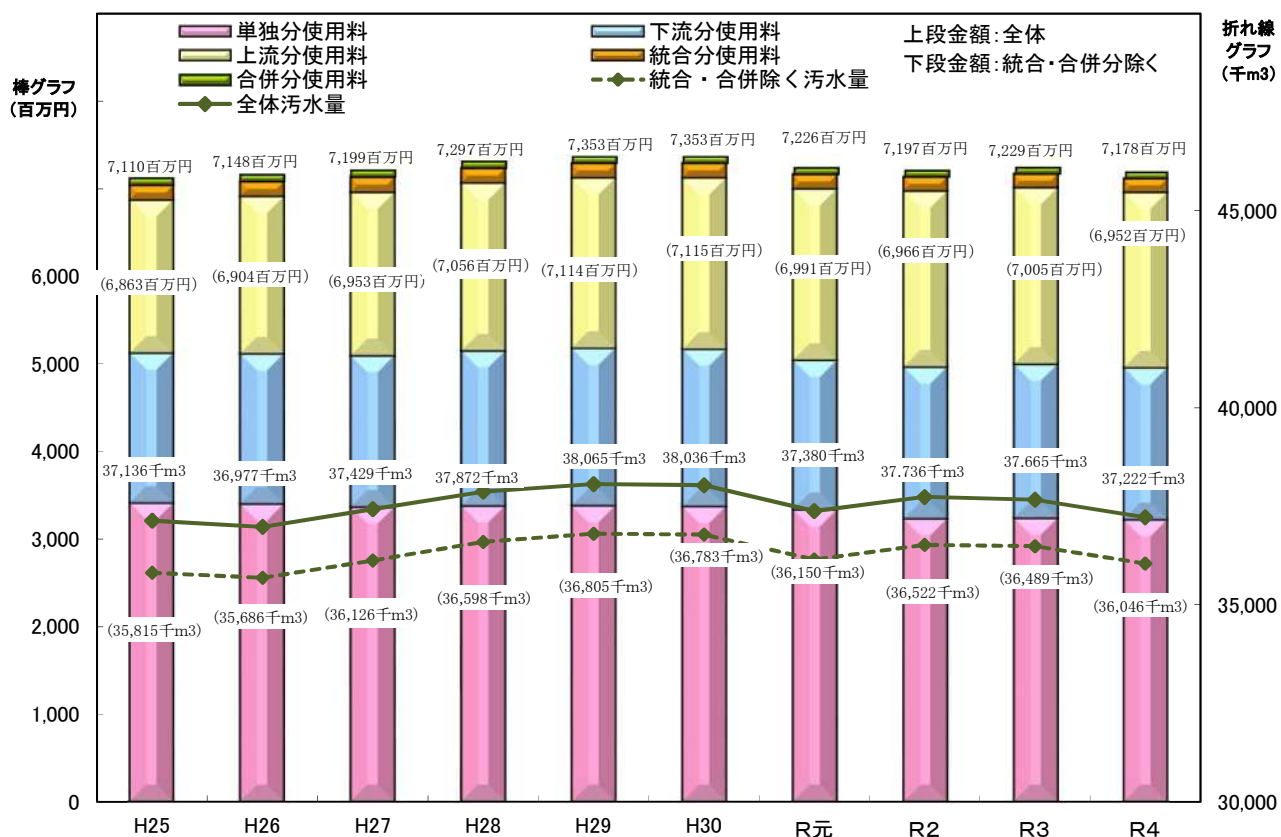
- ・ 汚水処理区域内人口（下水道に接続可能な人口）は359,440人で、前年度に比べ2,629人減少し、水洗化人口（下水道に接続済みの人口）は351,755人で、前年度に比べ594人減少しました。
- ・ 人口普及率（下水道に接続可能な人の割合）は98.0%で、前年度より0.1ポイント増加しました。
- ・ 有収汚水量（使用料を賦課した汚水量）は37,222,099^mで、水需要の減少などにより、前年度に比べ443,107^m減少しました。

項 目	令和4年度	令和3年度	増 減	対前年比
汚水処理区域内人口（人）（A）	359,440	362,069	△ 2,629	99.3%
水洗化人口（人）	351,755	352,349	△ 594	99.8%
人口普及率（%）（A/長野市人口）	98.0	97.9	0.1	—
有収汚水量（ ^m ）	37,222,099	37,665,206	△ 443,107	98.8%

下水道使用料収入の推移

令和4年度の汚水量は前年度から約44万m³の減(△1.1%)、下水道使用料収入は前年度から約5,100万円の減(△0.7%)となった。

これは、水道の一般家事用の減少に符合して減少となったもので、水道と同様に、人口減少がその主な要因と思われ、汚水量・使用料の減少は今後も緩やかに進むことが予想される。



下水道使用料推移 (税抜き)

単位: 百万円

年度	公共下水道			合計 (A)	対前年増減	汚水量 (千m ³)	統合分 (b1) 農集排 小規模 戸隠無里	合併分 (b2) 信州新町 中条	汚水量 (千m ³)	総合計	
	単独	流域下流	流域上流							使用料 (A)+(b1)+(b2)	対前年増減
H25	3,408	1,709	1,746	6,863	63	35,815	172	75	1,321	7,110	59
H26	3,397	1,711	1,796	6,904	41	35,686	171	73	1,291	7,148	38
H27	3,362	1,728	1,863	6,953	49	36,126	173	73	1,303	7,199	51
H28	3,375	1,770	1,911	7,056	103	36,598	167	74	1,274	7,297	98
H29	3,378	1,796	1,940	7,114	58	36,805	166	73	1,260	7,353	56
H30	3,371	1,791	1,953	7,115	1	36,783	166	72	1,253	7,353	0
R元	3,330	1,707	1,954	6,991	△124	36,150	164	71	1,230	7,226	△127
R2	3,231	1,728	2,007	6,966	△25	36,522	161	70	1,214	7,197	△29
R3	3,236	1,756	2,013	7,005	39	36,489	156	68	1,176	7,229	32
R4	3,219	1,732	2,001	6,952	△53	36,046	157	69	1,176	7,178	△51

※ 各処理区の内訳は下記のとおり

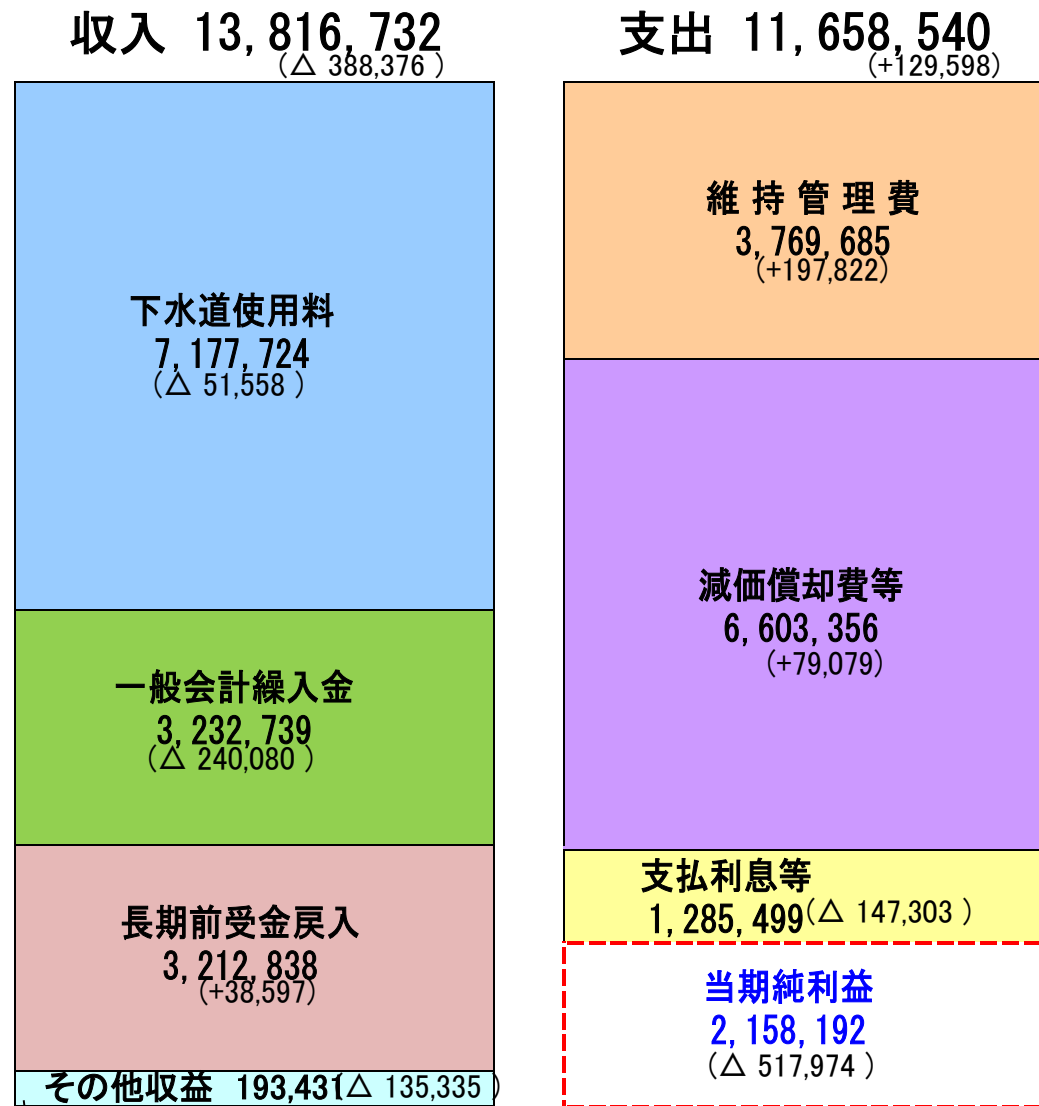
単独	流域下流	流域上流	統合分	合併分
・単独公共 ・長野特環単独	・公共流域下流区 ・長野特環下流	・公共流域上流区	・特環(戸隠・鬼無里) ・農集(長野・戸隠・鬼無里) ・小規模(豊野)・戸別(戸隠) ・特定浄化槽(長野・戸隠・鬼無里・大岡)	・特環(信州新町・中条) ・農集(信州新町) ・特定浄化槽(信州新町・中条)

令和4年度 下水道事業会計決算の概要

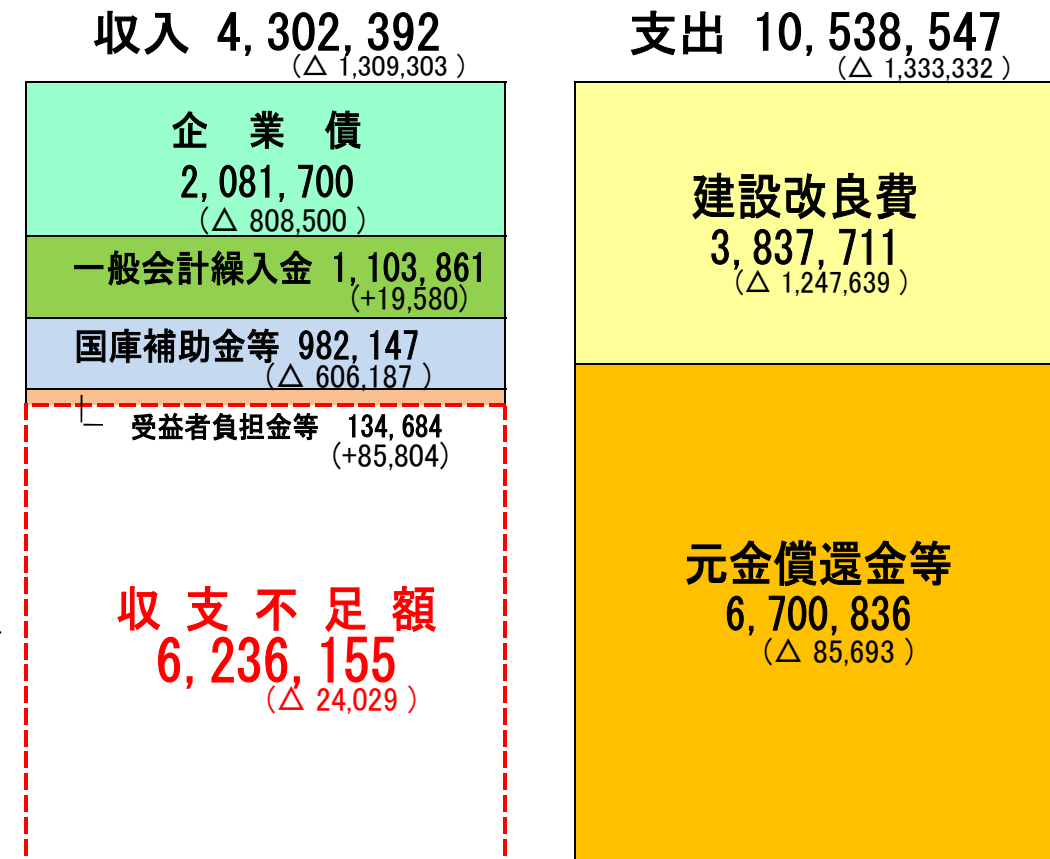
(単位 千円)
(カッコ内は前年度からの増減)

収益的収入及び支出 (税抜き)

資本的収入及び支出 (税込み)



補填財源



- ・ 県負担金返還金 169,068
- ・ 手数料等 24,363

補填後の内部留保資金残額 **2,438,917**
(+4,887)

純利益等の処分	
当期純利益	2,158,192
・ 減債積立金	2,158,192
	2,158,192

損益勘定留保資金の内訳	
過年度分	0
現年度分	2,438,917